

九州



九州の景況は、輸出が持ち直したものの、公共工事が弱含むなど、**回復の動きが一服**。

個人消費は、消費税率引上げ前は駆け込み需要から乗用車販売が普通・小型乗用車、軽乗用車いずれも増加したほか、大型小売店販売も増加するなど、持ち直し。**住宅建築**は、貸家、分譲住宅が増加したものの、持家が減少し、横這い圏内の動き。**設備投資**は、非製造業で投資計画を積み増す動きがみられるなど、上向き。**公共工事**は、昨年同時期の発注増の反動から、やや弱含む。**輸出**は、中国向けの自動車、香港向けの半導体電子部品が増加し、持ち直し。

生産活動は、電子部品・デバイスが増加したものの、情報通信機械が減少し、横這い圏内の動き。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（福岡）。金属製品は、生産水準が低下（佐賀）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（佐賀、宮崎）、低下（福岡、熊本）。機械・重電は生産高が増加（長崎）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（熊本）。情報通信機械は、生産水準が低下（大分）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（長崎、熊本）。自動車向けが好調、スマートフォン向けが弱含む（鹿児島）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（福岡）、低下（大分）。大手・中堅造船は生産高が減少（長崎）。化学は、生産水準が上昇（福岡）、低下（佐賀、熊本）。
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（佐賀、大分）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が上昇（佐賀）、低下（福岡）。
- ・ゴム製品は、生産水準が低下（佐賀）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（福岡、大分、宮崎）。焼酎は、生産が増加、出荷量が減少（鹿児島）。

観光は、観光地の入込客が増加するなど、やや上向き。

- ・3月の唐津地区、嬉野地区の入込客はともに前年比増加（佐賀）。
- ・3月の別府周辺地区の入込みは、宿泊者数が3か月連続で前年比増加、レジャー施設が2か月ぶりに増加（大分）。
- ・3月の主要観光施設の入場者数は、ほとんどの施設で前年比増加。県内主要ホテル・旅館の宿泊客数は、種子島・屋久島地区が増加したものの、霧島地区、鹿児島地区、指宿地区が減少し、全体では2か月連続で前年比減少（鹿児島）。
- ・2月の主要宿泊施設の宿泊客数は4か月連続で前年比増加、主要観光施設の入場者数が4か月連続で増加（長崎）。

雇用は、所定外労働時間が増加したほか、製造業、サービス業で新規求人数が増加するなど、緩やかな持ち直し。

先行きは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が予想されるものの、基調は緩やかな回復が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢